

2019 年度 基金活用による支援取り組み事例

事例①	生活安定化支援（出産医療費、支援機関との信頼関係構築）
申請時の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・本人と子ども4人、実母と実兄の7人世帯。 ・元夫との間に3人、パートナーの子どもを妊娠したことで、児童扶養手当停止。 ・そのことが原因でパートナーと破局。元夫及びパートナーからの養育費なし。 ・不登校気味の長男のケアで休みが多く、フルタイムの仕事が難しい。 ・本人及び家族は行政への抵抗感がある。 ・出産医療費の支払いをしなければ、出産一時金余剰額の申請ができない。 ・基金申請により、出産医療費を支払い、今後の生活安定のために出産一時金受給手続きを早急に進めたい。
その後	<ul style="list-style-type: none"> ・出産一時金申請をすることができ、12月に受給。落ち着いて育児ができています。また、母1人、子4人が安心して生活ができています。
事例②	通信手段の支援（就職活動への支援として企業実習へ繋ぐ携帯電話貸し出し）
申請時の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・本人と息子1人の2人世帯。 ・移動手段がなく病院へ行けず、持病が悪化し体調不良のため、出勤できず退職。 ・家賃や国保税の滞納あり。 ・息子は小・中学校の不登校で発達障害のグレーゾーンとして支援され、息子名義の借金あり。 ・就労準備講習から企業実習へ繋ぐ段階だが、携帯電話の準備ができない理由で滞っている状況。 ・就職活動の支援で、企業実習に繋ぐにあたり携帯電話の所持は必須であり、自立に向けた支援を希望する。
その後	<ul style="list-style-type: none"> ・本人との連絡が取りやすくなり、仕事もすぐに決まった。
事例③	資格取得支援（就職に必要な運転免許証取得の為に自動車学校費用）
申請時の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・本人と姉、叔母と従妹の4人世帯。 ・両親はそれぞれに借金や生活のトラブルを抱え、父親から性的虐待の被害有。（現在、接近禁止命令） ・小、中学校では不登校。現在は叔母宅で生活し、定時制高校通学中。 ・県外就職に向け、児童扶養手当を運転免許取得の為に貯金していたが、父に使われてしまう。 ・就職も決まり運転免許が必須なため、自立に向けた支援を希望する。
その後	<ul style="list-style-type: none"> ・心配事が減り、心にゆとりができ、無事卒業。立派な社会人として自立
事例④	就職活動支援・生活安定化支援（多子世帯、就労開始、初回給与までのつなぎ支援）
申請時の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・本人、妻（現在妊娠7ヵ月）、長男、次男（発達障がい）、三男、長女の6人世帯。 ・県外から、知人の紹介でホテル建築の仕事に携わる予定で移住。 ・移住して知人と音信不通。 ・元々自営業で土木建築業を営んでいた為、住居確保給付金などの申請に時間を要していた。 ・技術がある為就職は決まったが、初回給与まで約2ヶ月かかる。 ・緊急小口融資の申請やフードバンクを活用しながら、初回給与までの生活安定に繋げたい。
その後	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の仕事を3月で退職。4月より石垣島へ移住

事例⑤	子どもへの支援（子の入学準備用品の伴う生活支援）
申請時の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・本人、妻、長女、長男の4人世帯。 ・自己都合で退職し、雇用保険と妻の収入（A型就労支援事業所で勤務）や障害年金で生計を維持。 ・雇用保険の支給が終了し、長男の高校入学での必要費用の捻出が困難。 ・常用就職及び就労定着に至らず生計が崩れている状況。 ・常用就職先を確保し、子どもの就学環境の整備に繋がりたい。
その後	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な学用品の購入ができ無事学校に通える状態になる。

事例⑥	就学と子育ての両立（スクーリング時の一時預かり支援）
申請時の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・本人、長男（アルバイト中）、長女、次女、次男の5人世帯。 ・平日6時間、調理の仕事が就労中で日曜日は学校に通っている。 ・下の子の子育ては祖父や長女が行っているが、出来ない場合は長男がアルバイトを休んでいる。 ・中卒のため、子供が小学生になり勉強が大事だと思い、資格取得を考え高卒の資格の必要性を感じ、安心して通学できる環境作りに繋がりたい。
その後	<ul style="list-style-type: none"> ・2年進級し、将来に向け就職の幅が広がった。 ・長男の負担が軽減された。

事例⑦	職業高校・資格試験（高教組との連携）
申請時の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・本人、父、弟の3人世帯。（兄が県外で就労中） ・父子家庭で父親のみの収入のため、高校入学当初からアルバイトをし、またほとんどの家事を担っている状況。 ・家事やアルバイトの時間で家庭での学習時間の確保が難しく、検定料も本人が負担しており、経済的な負担から挑戦できない状況。 ・将来学校で学んだことを生かせる仕事に就きたいとの希望あり、資格取得は欠かせない。少しでも学習に向き合える環境を整え、自信をもって就職活動に臨めるように繋がりたい。
先生方からの声	<ul style="list-style-type: none"> ・アルバイトと部活で学業の時間がない為、基金を活用。経済的負担を減らし学業に時間が割ける様、資格取得することで、将来の就職の選択の幅が広がる。

2019年度「ろうきん こくみん共済 coop 働く仲間のゆめ・みらい基金」収支報告
(2019年4月1日～2020年3月31日)

1. 基金の残高

【収入】

項目	金額	内容
前期繰越金	16,446,509円	
団体寄付金	2,488,279円	各労働組合、ろうきん各地区推進委員会、スーパー駅伝大会
個人寄付金	4,150,437円	
ろうきん社会貢献寄付商品拠出金	1,116,400円	
こくみん共済coop推進本部社会貢献寄付商品拠出金	1,187,100円	
こくみん共済coop指定整備工場沖縄県協議会	413,700円	各指定整備工場の車検入庫分
合計	25,802,425円	

【支出】

項目	金額	内容
(使途別)		
① 移動手段	218,061円	14件
② 通信手段	64,102円	4件
③ 資格取得	249,200円	9件
④ 就職活動支援	62,122円	5件
⑤ 就労開始・初期	70,000円	3件
⑥ 生活安定化	2,857,777円	57件
⑦ 子育てと仕事の両立	38,680円	2件
⑧ 子どもへの支援	1,315,436円	30件
⑨ 就学と子育ての両立	1,824,952円	12件
⑩ 職業高校・資格試験	149,553円	31件
⑪ その他(助産費用滞納分)	70,000円	1件(切手代・助産費用滞納分等)
⑫ 移動手段(貸出)	21,960円	1件(自転車の貸し出し)
⑬ 通信手段(貸出)	0円	1件(就職活動用プリペイド携帯の貸し出し)
⑭ パソコン貸出支援	0円	(就職スキルアップのためのパソコン貸し出し)
小計	6,941,843円	170件(131名)
(その他)		
消耗品費	3,084円	
通信運搬費・燃料交通費	17,866円	お礼状送付切手・高速料等
諸謝金	24,000円	
保険料・雑費	7,256円	自転車利用時傷害保険料・振込手数料等
小計	52,206円	
合計	6,994,049円	

【収支計】

収入計	25,802,425円	
支出計	6,994,049円	
繰越金額	18,808,376円	

【地域別申請一覧】

		地 域								
	南部		中部		北部		宮古・八重山		県外	計
申請者	38名		40名		44名		9名		0名	131名

【世帯別割合】

